

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	脱灰操作および病理組織検体の保管環境が与える病理組織標本への影響の検討 [倫理審査受付番号：第 4285 号]
研究責任者氏名	廣田 誠一
研究機関長名	兵庫医科大学長 野口 光一
研究期間	2023 年 1 月 24 日 ~ 2024 年 11 月 30 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。 疾患名：肺腫瘍、消化器腫瘍、婦人科腫瘍 診療科名等：呼吸器外科、上部消化管外科、下部消化管外科、産科婦人科、病理診断科 受診日：西暦 2022 年 11 月 1 日 ~ 2023 年 11 月 30 日
研究に用いる 試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 アンケート その他 () 取得の方法： <input checked="" type="checkbox"/> 診療の過程で取得 その他 ()
研究目的・意義	近年、分子標的治療の増加に伴い、病理検体を用いた免疫染色や遺伝子検査の意義は非常に大きくなっています。また、当院では染色性の精度の確保のため、免疫染色を行う際は目的とする細胞が陽性となるコントロール標本を用いています。しかし、希少な症例を対象とした免疫染色についてはコントロール標本の確保が困難です。さらに骨組織などの硬い組織検体は標本作製のために硬組織を柔らかくする操作(脱灰操作)が必要ですが、脱灰操作に用いる溶液や標本作製前の組織検体の保管環境が染色結果や核酸濃度に影響を及ぼす可能性があります。品質の高い染色性や遺伝子検査を行うため、脱灰に使用する溶液および組織検体を保管する溶液について調査を行い、染色性および核酸濃度、薄切操作に与える影響を観察します。
研究の方法	肺腫瘍、消化器腫瘍、婦人科腫瘍の診断を目的として採取した検体を用いて様々な溶液中で組織検体を保管し、その後脱灰操作を行います。保管および脱灰期間、使用する溶液等の条件を変更して作製した標本で核酸の抽出や免疫染色を行い、染色性および核酸濃度の評価と標本作製工程の評価を行います。

	<p>す。その結果より、それぞれの条件が与える影響を検討します。また本研究に用いた検体は細胞像と検体名、診断名のみを使用し、患者さんの基本情報（氏名・年齢・既往歴等）については使用しません。</p>
<p>個人情報の 取扱い</p>	<p>収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
<p>本研究に関する 連絡先</p>	<p>診療科名等： 病理診断科 担当者氏名： 廣田 誠一 [電話]（平日 8:30～16:45）0798 - 45 - 6667</p>